

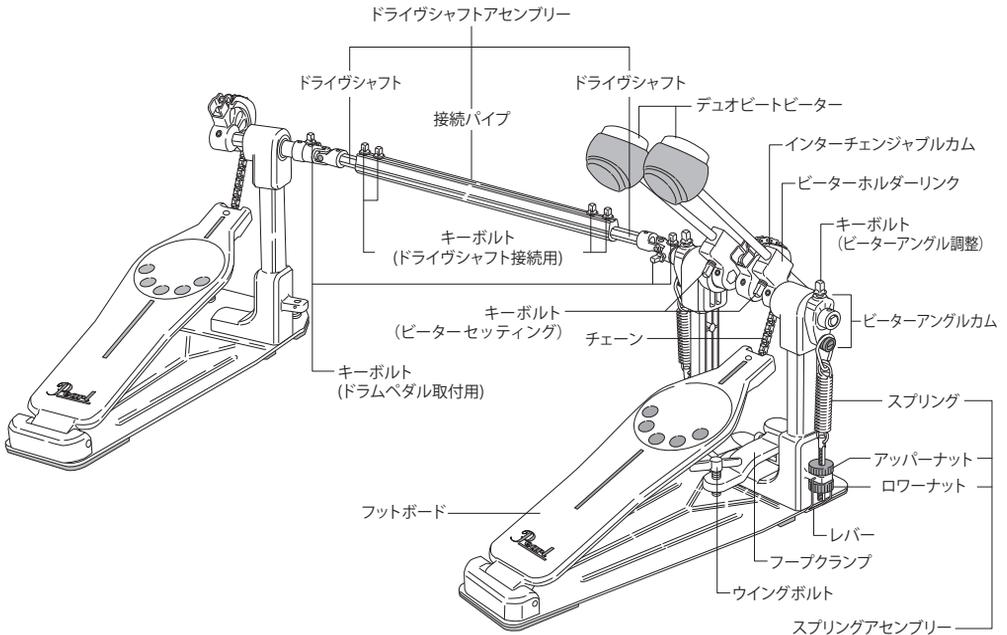
PEARL DRUM PEDAL

P-932 / P-932L / 931

取扱説明書

この度は、P-932 / P-932L / P-931 ドラムペダルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひご覧下さい。



デュオビートビーター

スタンダードなフェルト (A) とハードなプラスチック (B) の 2 つの面をもつビーターです。お好みに合わせて使い分けてください (図 1)。

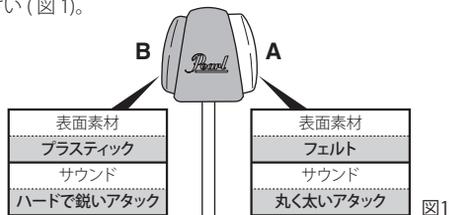


図 1

ビーターのセッティング

片方のデュオビートビーターをビーターホルダーリンクに差し込みます。デュオビートビーターの長さを調整して好みのポジションが決まりましたらキーボルトを付属のチューニングキーで締めて固定してください。もう一方のデュオビートビーターも先に取り付けたデュオビートビーターに長さを合わせて、同じ手順で取り付けてください (図 2)。

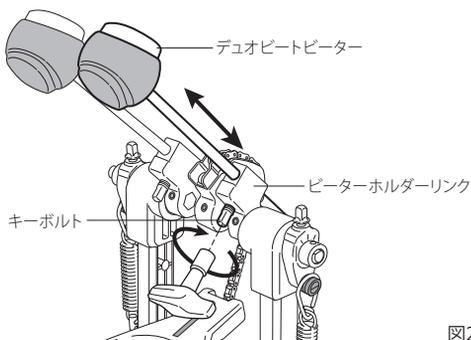


図 2

ビーターアングルの調整

ビーターアングルカムのキーボルトを付属のチューニングキーでゆるめると、スプリングのテンションを変えずにデュオビートビーターのアングルを無段階に調整することができます。二つのビーターのお好みのアングルが決まりましたら、キーボルトを締めて固定してください (図 3)。

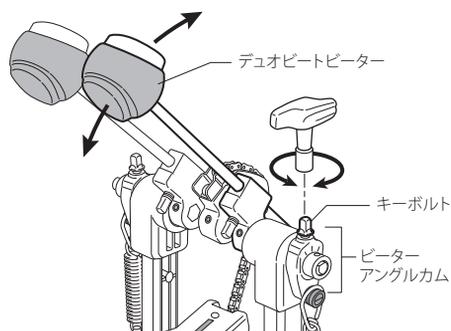


図 3

ドライブシャフトの接続

メインペダルの左側とサブペダルの右側にある接続部 (突起部) (B) に、ドライブシャフトのジョイント部 (A) を接続します。その際、サブペダルは突起部の平らな面が上にくるようにフットボードの角度を設定します。最後に付属のドラムキーで①、②の順番でしっかりと締めてください。逆の順番ですとドライブシャフトが正しく固定されないことがあります。(図 4, 5)。

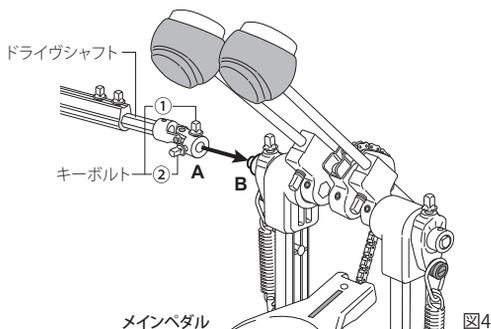


図 4

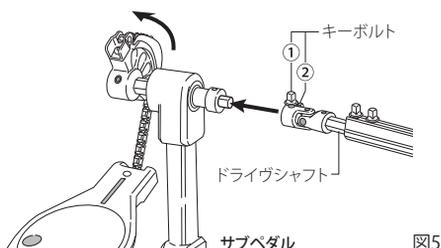
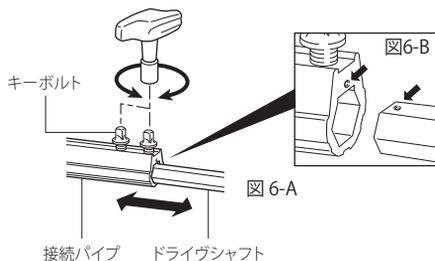


図 5

ドライブシャフトの長さを調整するには、まず接続パイプのキーボルト (ドライブシャフト接続用) を付属のチューニングキーでゆるめます。左右のペダルの距離を調整したら、キーボルトを付属のチューニングキーでしっかりと締めてください (図 6-A)。



注意

ドライブシャフトが接続パイプから抜けてしまった際は図 6-B のようにそれぞれの接続マークに合わせて接続してください。

図 6-A

図 6-B

スプリング・テンションの調整

P-932にはスプリングテンションを簡単かつ確実にロックできるクリックロック機構を搭載しております。スプリングテンションを強くしたい場合には、まずレバーを上げてロックを解除します。アッパーナットをゆるめて、ゆるめた分下方方向に押し下げて下さい。その位置を保ったままローナットを締めつけます。弱くしたい場合にはローナットをゆるめます。好みのテンションが決まりましたらアッパーナットとローナットをしっかり和締めしてください。このシステムは調整後のゆるみを防ぐダブルナット方式ですので、両方のナットをしっかりとしめてください。最後にレバーをローナットの溝にカチッと合まるまでしっかりと下げてください(図7)。

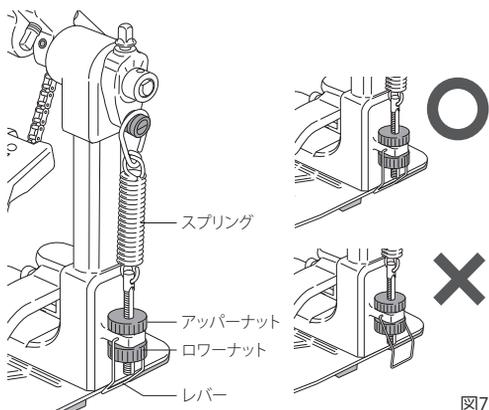


図7

フープクランプ

バスドラムのフープをフープクランプではさみ、ウイングボルトを締めて固定してください(図8)。バスドラムから外す際は、ウイングボルトを十分にゆるめてから外してください。

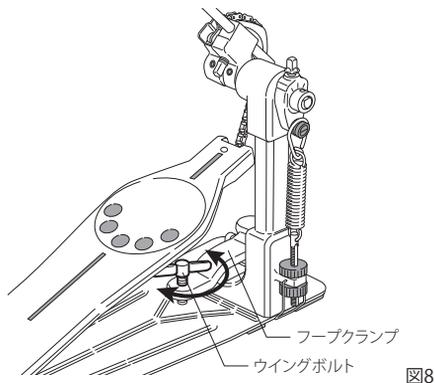
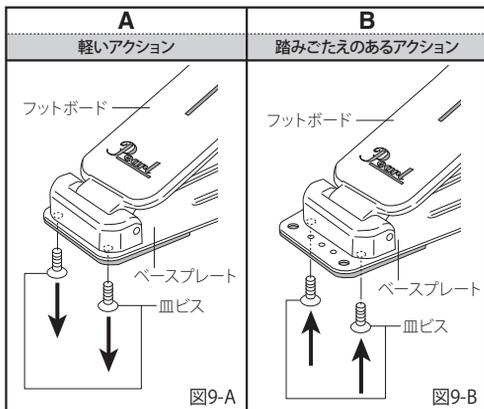


図8

パワーシフター

P-932はフットボードの位置を前後にずらすことで異なるアクションに変えられるパワーシフター機能を搭載しています。工場出荷時は(A)の位置にフットボードは組まれています(図9-A)。(B)の位置に変えるには、まずベースプレート下の皿ビスを付属の六角レンチ(3mm)で外してください。フットボードを(B)の位置にずらし(図9-B)、皿ビスをしっかり和付属の六角レンチで締めて固定してください。



アンカーボルト

サブペダルには床面とのズレを防ぐためのアンカーボルトが付いています。必要に応じてアンカーボルトを時計方向に回して剣先を出してください(図10)。

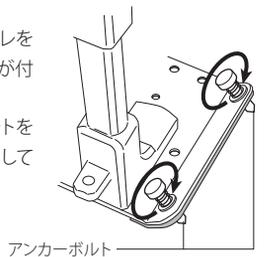


図10

注意

バスドラムを移動する際は、必ずドラムペダルを外してください。バスドラム、ペダルを破損する可能性があります。

注意

バスドラムを移動する際は、必ずドラムペダルを外してください。バスドラム、ペダルを破損する可能性があります。

インターチェンジャブルカム

P-932 は一台のペダルで異なるアクションが味わえるインターチェンジャブルカム機構を搭載しています。工場出荷時は、踏みはじめは軽く踏み込んだ時にスピードが得られる偏心タイプのオレンジカムが付いており、これを外すことでパワーがあり素直でくせのない真円（パール標準サイズ）タイプのカムになります。

オレンジカムを外すにはチェーンのすきまからオレンジカムの中心部のネジに付属の六角レンチ（2.5mm）を差し込み、反時計方向に回しネジをゆるめます（図 11-A）。

ネジがゆるみましたらまっすぐオレンジカムを抜き取って、チェーンにそってずらして取り外してください（図 11-B）。

オレンジカムを取り付ける際は逆の手順で取り付けてください。

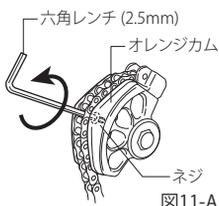


図11-A

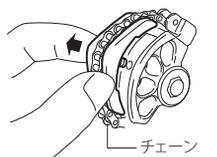


図11-B

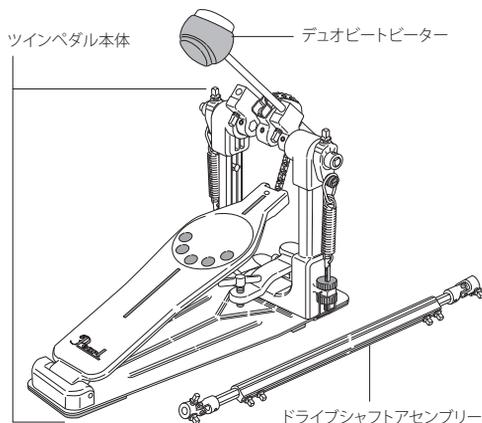
ヒント

オレンジカムは上下どちらの向きでも取り付けられます。

P-931 と、お手持ちの P-930 シングルペダルをサブペダルに組み替えることで、ツインペダルとしてご使用いただけます。

P-931 は下記のパーツが含まれております。

1. メインペダル部
2. デュオビートピーター
3. ドライブシャフトアセンブリー

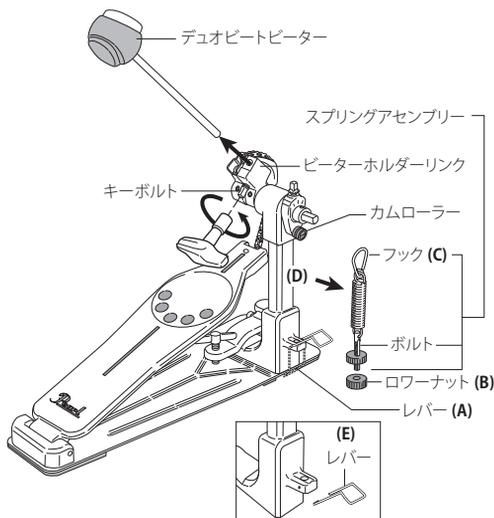


ヒント

P931 に付属されているピーターは 1 本のみです。お手持ちの P-930 のデュオビートピーターと組み合わせてお使いください。

P-930 のサブペダルへの組み替え方

まず、お手持ちの P-932 からデュオビートピーターを外します。ピーターホルダーリンクのキーボルトを付属のキーボルトでゆるめ、デュオビートピーターを抜き取り、キーボルトも外してください。次にスプリングアセンブリーを外します。レバーを上げてクリックロックを解除し (A)、ローナーナットをゆるめてボルトから外します (B)。カムローラーからフックを外し (C)、ポストからスプリングアセンブリーを抜き取ってください (D)。最後にレバーをゆっくりと開きポストから取り外します (E)。その際レバーを開き過ぎて変形させないようにご注意ください。ドライブシャフトの接続方法に関しましては前述の説明をご確認ください (図 5~7)。



ヒント

P-930 から取り外したキーボルト、レバー、スプリングアセンブリーは、再びシングルペダルとして使用される際に必要となりますので、大切に保管してください。

オプション (別売り)

・PS-85 ペダルスタビライザー

サブペダルの安定度を高めるために、フープクランプ部に取り付け使用してください。

注意

チェーンやボルト、ナット、フットボードの可動部などには、時おり注油 (グリス等) して下さい。

Pearl

パール楽器製造株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

電話：047-484-9111 (代表)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田593-1

電話：047-450-1090 (テクニカルサポート)

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in China

-1212-